

SONY®



Spatial Reality Display Player

version 1.0.0

取扱説明書

JP

Operating Instructions

EN

Mode d'emploi

cFR

使用说明书

CS

2023年6月 発行 (manual version 1.0)

目次

1. Spatial Reality Display Playerについて

- 1-1. Spatial Reality Display Playerの主な特徴
- 1-2. 必要なPC環境
- 1-3. 利用可能なSpatial Reality Display
- 1-4. 再生可能な3DCGファイルフォーマット
- 1-5. 利用可能な操作デバイス
- 1-6. 言語設定について

2. 基本的な画面構成と操作

- 2-1. モデルエクスプローラー画面と全画面表示
- 2-2. 操作ガイド表示
- 2-3. MenuとOption機能

3. サンプル画像を見してみる

- 3-1. サンプル3DCGモデルを選んで表示する
- 3-2. 3DCG表示の基本操作
- 3-3. サンプル3DCGモデルの削除と復活

4. 自分の3DCGモデルを取り込んで表示する

- 4-1. PCにある3DCGファイルをインポートする
- 4-2. エクスプローラー上のモデルを削除する
- 4-3. エクスプローラーの3Dサムネイルの生成について

5. さまざまな機能を使ってみる

- 5-1. 3DCGコンテンツの検索およびソート
- 5-2. オートターン
- 5-3. 初期角度
- 5-4. ライト光源設定
- 5-5. アニメーション3DCGの再生

6. その他

- 6-1. バージョン情報について
- 6-2. アプリに関する最新情報/アップデート情報について

1. Spatial Reality Display Playerについて

1-1. Spatial Reality Display Playerの主な特徴

このアプリはSpatial Reality displayで3DCGを手軽に再生して楽しむことができます。

お手持ちの3DCGデータを簡単にSpatial Reality Displayで表示することができます。

デザインや医療・建築・サイネージなどの幅広い分野で3DCGを活用することができます。

1-2. 必要なPC環境

	推奨スペック
CPU	i5-6 core or faster
GPU	PassMark - G3D Mark score 18,000 or higher (GeForce RTX2070 SUPER equivalent)
Memory	16GB or larger
Storage	SSD

1-3. 利用可能なSpatial Reality Display

このPlayerは以下のSpatial Reality Displayで表示が可能です。

- ・ ELF-SR1
- ・ ELF-SR2

1-4. 再生可能な3DCGファイルフォーマット

このPlayerは以下の3DCGファイルフォーマットの表示に対応しています。

- ・ FBX形式
- ・ OBJ形式
- ・ GLTF/GLB形式
- ・ STL形式

ご注意

- * 各DCCツールからExportされたPlayerが対応するフォーマットファイルについて、各ツールのフォーマット仕様に基づいて表示できるようにソニーで表示検証を行っています。
- * Playerが対応する3Dファイル対応フォーマットの中には、ソフトウェア個別の効果を正しく反映して3D表示できない場合があります。

1-5. 利用可能な操作デバイス

このPlayerは以下の操作デバイスを接続して操作することが可能です。

- ・ Windows準拠のUSB キーボード
- ・ Windows準拠のUSB マウス
- ・ Windows準拠のUSB ゲームパッド *1
- ・ PlayStation 4/5向けコントローラ *2

*1 WindowsのDirect Input規格に準じたGamepadに対応しています。

*2 PlayStation用コントローラはUSBで有線接続をしてください。

ご注意

2.4GHz BTシステムをUSB接続する場合、他のUSB3.0接続機器との干渉問題のため動作しない場合があります。有線による接続を推奨します。

1-6. 言語設定について

このPlayerは以下の言語で表示可能です。「オプション」-「設定」で変更できます。

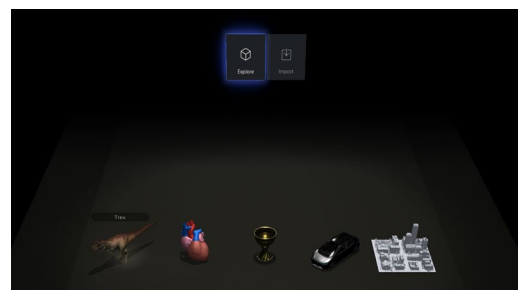
- ・ 英語
- ・ フランス語
- ・ 日本語
- ・ 中国語

2. 基本的な画面構成と操作

2-1. モデルエクスプローラー画面と全画面表示

エクスプローラー画面では取り込んだ3DCGモデルを一覧することができます。

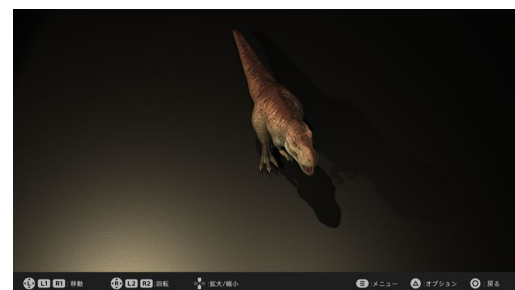
3DCGモデルを全画面表示し、さまざまな角度や方向から視聴することができます。



エクスプローラー画面

主な機能

- ・モデルを一覧表示
- ・モデルを選択・再生
- ・モデルの削除
- ・メニュー機能
- ・オプション機能



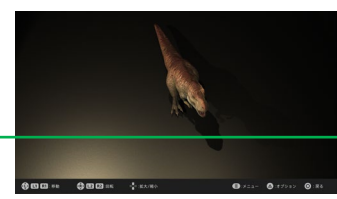
モデル全画面表示

主な機能

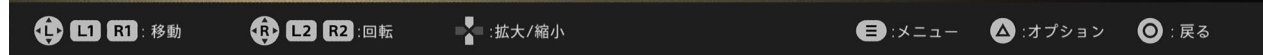
- ・移動
- ・回転
- ・拡大縮小
- ・オプション機能

2-2. 操作ガイド表示

各画面では画面下部に操作ガイドが表示されます。(5秒間)



操作ガイドに従ってさまざまな機能を利用することが可能です。

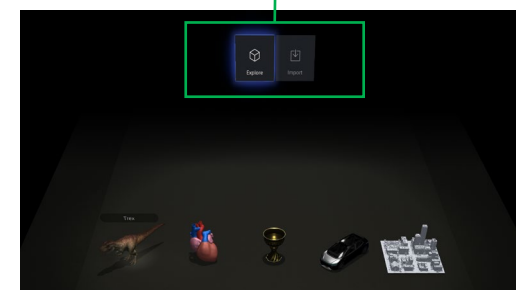


ご注意 ゲームパットを接続時は、ゲームパット用の操作ガイドに切り替わります。

2-3. MenuとOption機能

このPlayerでは「メニュー」と「オプション」からさまざまな機能を利用できます。

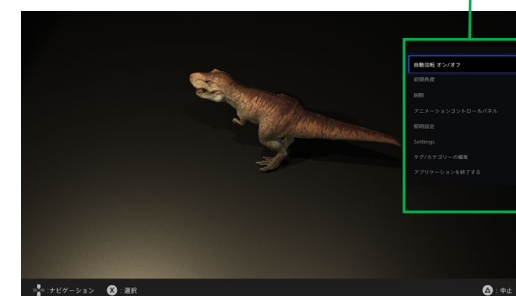
メニュー



メニュー

- ・エクスプローラー
エクスプローラーを表示します。
- ・インポート
PC内の3DCGモデルファイルをエクスプローラーに取り込みます

オプション



オプション

- ・オートターン オン/オフ
モデルを自動で回転表示します
- ・初期角度
モデルの表示時の角度を設定します。
- ・削除
モデルを削除します。
*エクスプローラーからも削除されます。
- ・ライト光源設定
ライトの光源や色温度、強さを設定します。
- ・設定
プレイヤーの設定をします
- ・タグ/カテゴリーの編集
モデルのタグやカテゴリー情報を編集します
- ・アプリを終了する

3. サンプル画像をしてみる

3-1. サンプル3DCGモデルを選んで表示する

このPlayerにはいくつかのサンプル3DCGモデルが搭載されています。
このサンプル画像を使ってSpatial Reality Displayが正しく接続、設定されているか確認できます。

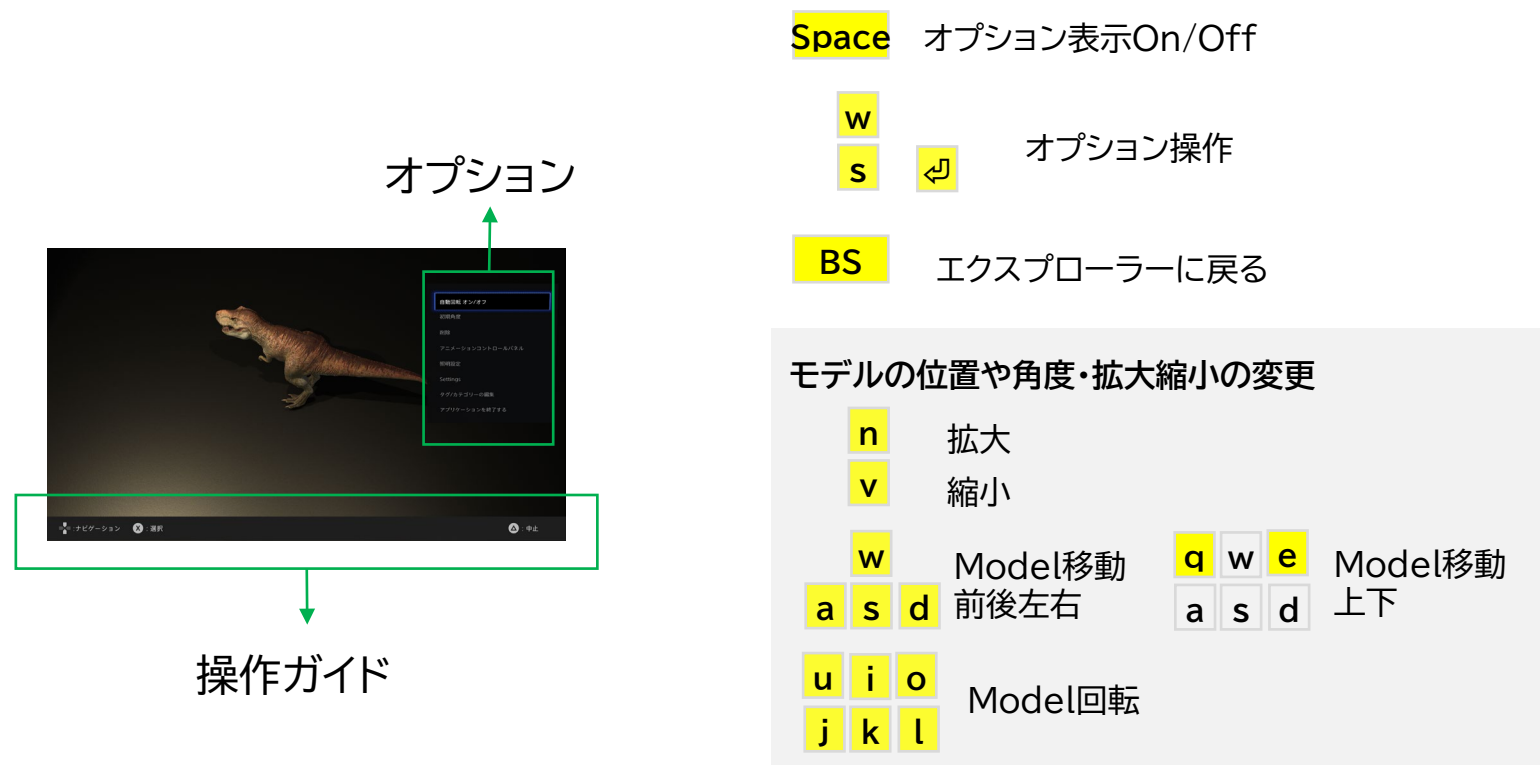
手順 1 アプリを起動します。

手順 2 エクスプローラー画面からお好みのサンプル画像を選び選択します。

手順 3 全画面で3DCGモデルが表示されます。

3-2. 3DCG表示の基本操作

3DCG表示画面では操作ガイドに従ってモデルの位置や角度を変えることができます。
またオプションから様々な機能を利用することができます。



3-3. サンプル3DCGモデルの削除と復活

このPlayerにはサンプル3DCGモデルが内蔵されています。
不要な場合は削除できます。
また削除しても再度エクスプローラーに戻すことも可能です。

削除の方法

手順 1 エクスプローラー画面で削除したいモデルを選択します。

手順 2 エクスプローラー画面でオプションを開きます。

手順 3 オプションから「削除」を選択します。

手順 4 エクスプローラーからモデルが削除されます。

復活の方法

手順 1 エクスプローラー画面でオプションを開きます。

手順 2 オプションから「サンプルの再取り込み」を選択します。

手順 3 エクスプローラーにサンプルモデルが復活します。

4. 自分の3DCGモデルを取り込んで表示する

4-1. PCにある3DCGファイルをインポートする

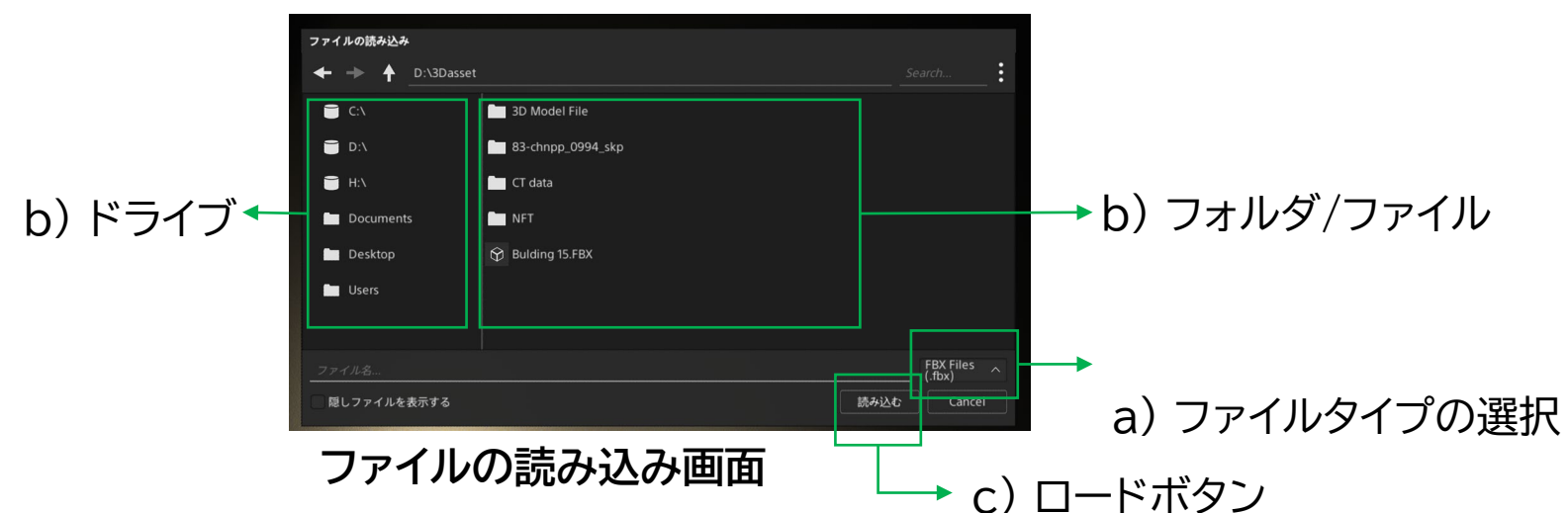
このPlayerで3DCGモデルを表示するためには、まずPlayerにモデルを取り込む必要があります。

ご注意 この画面ではマウスを使って操作してください。
キーボードおよびコントローラは使用できません。
マウス操作に関するメッセージはインポート起動時に初回のみ表示されます。

手順 1 アプリを起動します。

手順 2 エクスプローラー画面で「TABキー」を押し、「メニュー」を表示し、「Import」を選択します。

手順 3 PCの中の3DCGファイルを選択します。



手順 4 ファイルタイプを選択します。(a)

手順 5 エクスプローラーに取り込みたい3DCGファイルを選択します。(b)

手順 6 ロードボタンを押します。(c)



手順 7 このモデルをカテゴリに登録します。

* カテゴリを登録すると検索やソート機能を使ってエクスプローラ表示をカスタマイズできます。

手順 8 モデルがエクスプローラー画面に追加されます。

4-2. エクスプローラー上のモデルを削除する

“オプション”から「削除」を実行するとエクスプローラーからモデルが削除されます。

* 削除後は後ろにあるモデルが前に移動します。
* 新たに追加した場合には表示されているモデルの最後に追加されます。

4-3. エクスプローラーの3Dサムネイルの生成について

エクスプローラー画面では取り込んだモデルを3Dサムネイルで表示します。ファイルを読み込んだ後は仮のサムネイルが表示されます。ファイルを一度全画面表示で再生すると、自動で3Dサムネイルが生成され、その後エクスプローラーに3Dサムネイルが表示されます。



仮のサムネイル

5. さまざまな機能を使ってみる

5-1. 3DCGコンテンツの検索およびソート

このPlayerに取り込んだモデルを検索、ソートして並び替えることができます。



検索機能

モデル取り込み時や「オプション」の「タグ/カテゴリの編集」で設定したカテゴリ情報に従って検索することができます。



ソート機能

以下の条件でソートできます。

- ・データサイズ
- ・ファイルを取り込んだ日付
- ・ファイルの名前

注意 PCのローカルにあるファイルを検索・ソート表示することはできません。

5-2. オートターン

3DCGモデルを全画面表示中に、モデルを自動で回転表示させることができます。

5-3. 初期角度



3DCGモデルをX/Y/Z軸を中心に表示を変えることができます。

また画面に合わせて位置やサイズを変えることができます。

注意 初期角度を設定すると次回のモデル表示時にそのサイズ/位置/角度で表示されます。

5-4. ライト光源設定

3DCGモデル表示のライティングを変えることができます。



ライト光源環境

あらかじめ用意された光源環境から選択することができます。



カスタマイズ機能

各光源環境をカスタマイズすることができます。

- ・光の色温度
- ・光の強さ
- ・光の色

注意 カスタマイズされたライティング設定は自動的に記録されます。

5-5. アニメーション3DCGの再生

3DCGモデルにアニメーション情報がある場合は、コントロールパネルより再生方法を選択できます。



アニメーションコントロールパネル

- ・再生/一時停止
- ・シークバー再生
- ・リピート再生
- ・再生速度

6. その他

6-1. バージョン情報について

このPlayerのバージョンはv 1.0.0です。

6-2. アプリに関する最新情報/アップデート情報について

このPlayerに関する最新情報やアップデート情報は以下のサイトで確認できます。

アプリセレクト

<https://sony.net/app-srd>

開発者サイト

<https://sony.net/dev-srd>

SONY[®]

2023年6月 発行 (manual version 1.0)